(19)日本国特許庁(JP)　(12)登録実用新案公報(U)　(11)実用新案登録番号
実用新案登録第3109338号
(U3109338)
(45)発行日　平成17年5月19日(2005.5.19)　(24)登録日　平成17年3月30日(2005.3.30)

(51)Int.Cl.[7]	F I		
B65D 33/28	B65D	33/28	
B65D 30/28	B65D	30/28	Z
B65F 1/00	B65F	1/00	B

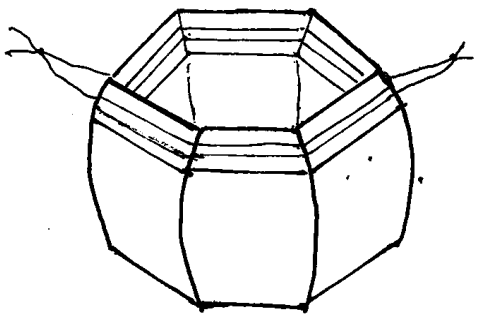
評価書の請求 未請求　請求項の数 1　書面　(全 4 頁)

(21)出願番号　実願2004-7353(U2004-7353)
(22)出願日　平成16年11月17日(2004.11.17)

(73)実用新案権者　504459397
小野　世都
千葉県浦安市美浜１－１－２１９
(72)考案者　小野　世都
千葉県浦安市美浜１－１－２１９

(54)【考案の名称】簡易組立式使い捨て容器

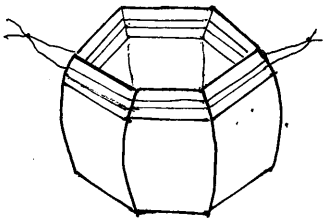
(57)【要約】　(修正有)
【課題】かさばらず持ち運ぶことが出来、使用時に簡単に組立ることのできる使い捨て容器を提供する。
【解決手段】ビニール素材で出来た底面と、側面を、立体になるように各々貼付する。これを、平たく折り畳み、使用時に立体に広げて起立させる。使用後は、出入口に付けられた紐を絞ることにより、廃棄も持ち運びも簡単である。
【選択図】図１



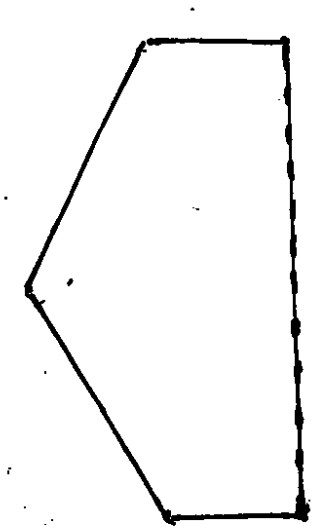
【実用新案登録請求の範囲】
【請求項１】
出入口に紐通しがあり、ビニール素材で作られ、平たく畳まれ、使用時に簡単に組み立てることが出来ることを特徴とする使い捨て容器。
【考案の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
本考案は、折り畳んであって簡単に組み立てられ、使用後捨てることも持ち運ぶことも可能な容器である。
【背景技術】
【０００２】
従来、人の集いの場に於いて、菓子袋など取り回しをしたり、別の容器を使用したりしていた。
また、家庭・外食のいずれに於いても、貝殻や豆の皮などの廃棄物を処理する為には、別途の容器を用意することが普通であった。
【考案の開示】
【考案が解決しようとする課題】
【０００３】
人の集まる場で、菓子袋の取り回しをするのは場の雰囲気を損なう。又、食事の場で貝殻や豆の皮などの廃棄物を処理する為の皿を用意すると、後片付けに手間がかかる。又、外食に於いては、後片付けに際し、人件費・水道代などのコストがかかる。代用品として、紙皿などが考えられるが、１こ当たりの単価が高く、処分に手間がかかる。従って、ビニール素材で作った使い捨て容器を使用することにより、前述の欠点を解決しようとするものである。
【課題を解決するための手段】
【０００４】
本考案は、ビニール素材で立体を作り、折り畳み、ティシュの様に箱又はビニール袋等に収納し、次々と取り出し可能にするものである。
【考案の効果】
【０００５】
上述の様に、本考案は、皿としての機能は勿論、水分を含んだ廃棄物を処理する機能も併せ持ち、多目的に使用できる容器であり、軽量・安価であるため、あらゆる場所で役立つ。
【考案の実施するための最良の形態】
【０００６】
折り畳んだ容器を立体に広げて起立させる。
【実施例】
【０００７】
あらゆる立体が可能であるが、ここでは底面が六角形の立体を例に説明する。
底面は六角形。側面は、長方形の向かい合う２辺が弧を描いた形が６枚。底面と側面６枚が、６角柱になるように、各々貼付されている。
【０００８】
容器の口の部分に紐通しが付けられ、使用後、その紐を絞って廃棄することが出来る。又、残留品を持ち帰る事も出来る。
【図面の簡単な説明】
【０００９】
【図１】本考案の立体に広げて起立させた時の正面図である。
【図２】本考案が畳まれた状態である。ティッシュケース等に、このような状態で詰めておく。
【図３】本考案の図２を開いた図である。

【図４】本考案の図３の中心部にある三角形６個を容器を開くため、引き上げた時の図である。
【図５】本考案の口の部分の紐通しを図にしたものである。
【符号の説明】
【００１０】
　１　紐通し口で、Ａ紐の一端が、紐通しの中をぐるりと回って出た他方の端と結ばれている。
　２　紐通し口で、Ｂ紐の一端が、紐通しの中をぐるりと回ってでた他方の端と結ばれている。
　３　折り曲げた紐通しの中を、紐が通っているところ。
　４　折り畳んだ時の重なった容器の一番上の部分。

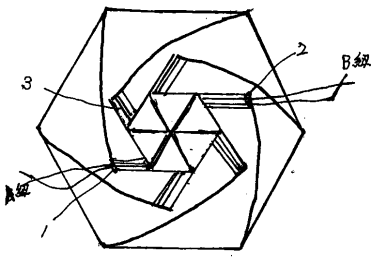
【図１】



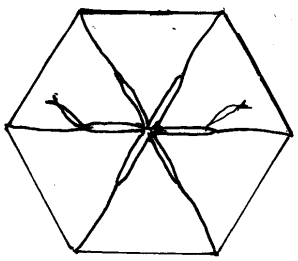
【図２】



【図３】



【図４】



【図５】

